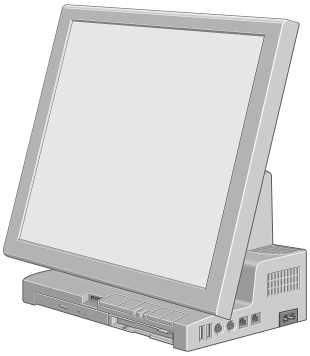


Panasonic

パーソナルコンピューター
取扱説明書

品番 CF-81 シリーズ

Panacom LCW

98 NT 2000

本書以外のマニュアル

操作マニュアル

画面で見るマニュアルです。本機をより活用するための拡張方法などについて説明しています。見かたについては16ページを参照してください。

もくじ

使用上のお願い / 状態表示ランプ / スタンバイ・休止状態機能 / セキュリティ機能 / プライベートキー / 省電力機能 / ダブルディスプレイ / モバイルアシスト /USER ボタン /CD ドライブ /PC カード /RAM モジュール /LAN 機能 / プリンター / 外部ディスプレイ /USB 機器 / セットアップユーティリティ / 技術情報 / エラーコードが表示されたら /DMI ビューアー / 困ったときの Q&A

上手に使って上手に節電

もくじ

お使いになる前に
操作の方法
困った時は

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

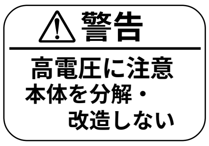
■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

本機を改造しない



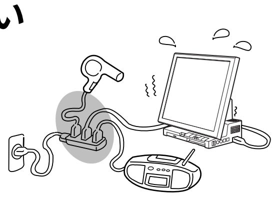
分解禁止

[本体に表示した事項]

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない

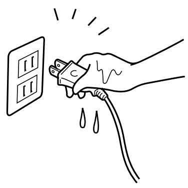
禁止



たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

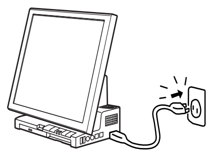
ぬれ手禁止



感電の原因になります。

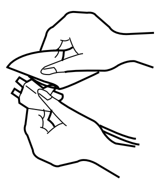
拡張ボードなどを着脱するときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
  長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

上に水などの入った容器や金属物を置かない

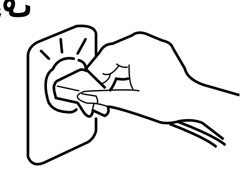
禁止



水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

- 内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切って電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

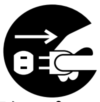


差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

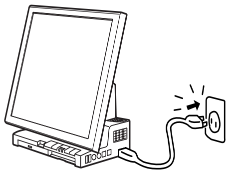
- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠警告

異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く



電源プラグを抜く



・本体が破損した
・本体内に異物が入った
・煙が出ている
・異臭がする
・異常に熱い

などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

●異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切って電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

〈傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない〉

禁止



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠注意

不安定な場所に置かない

禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

電源コードは、プラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

通風孔をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

CD-ROMドライブの内部をのぞきこまない

禁止

内部のレーザー光源を直視すると、視力障害の原因になることがあります。

●内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。

ひび割れたり変形したりしたCDは使用しない

禁止

高速で回転するため、飛び散ってけがの原因になることがあります。

●円形でないCDや、接着剤などで補修したCDも同様に危険ですので、使用しないでください。

炎天下の車中に長時間放置しない

禁止

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

●電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

使用上のお願い

本取扱説明書の表記上の規則

[スタート]-[プログラム]	:画面の「スタート」をクリックした後、「プログラム」をクリックします。（内容によっては、ダブルクリックが必要な場合もあります。）
Enter	:キーボードのEnterキーを押します。
Ctrl+Esc	:キーボードのCtrlキーを押しながら、Escキーを押します。
Windows 98	:Microsoft® Windows® 98 についての説明です。
Windows NT	:Microsoft® Windows NT® 4.0 についての説明です。
Windows 2000	:Microsoft® Windows® 2000 Professional についての説明です。
☞操作マニュアル	:操作マニュアルは画面で見るマニュアルです。16ページに記載の方法で起動し、参照してください。

周辺機器等の誤使用は、本機の性能劣化、温度上昇、故障の原因になることがあります。各種拡張については操作マニュアルを参照してください。

- お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失する恐れがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、下記および次ページのことに注意してください。

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

ハードディスクのデータ保護

- コンピューターに衝撃を与えない。
  ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。コンピューター本体の取り扱いには十分注意してください。
- Windows*やアプリケーションソフトの動作中およびハードディスクドライブ（🛢）のアクセスランプが点灯中は、電源を切らない。
  操作を終了する時は： Windows 98 [スタート]-[Windows の終了]を選んでください。
  Windows NT Windows 2000 [スタート]-[シャットダウン]を選んでください。

  *正式名称 Windows 98 ：Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。本書では Windows または Windows 98 と表記します。
  Windows NT ：Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0 日本語版です。本書では Windows または Windows NT と表記します。
  Windows 2000：Microsoft® Windows® 2000 Professional 日本語版です。本書では Windows または Windows 2000 と表記します。
- ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合(故障・不本意なデータ更新・消失など)に備えて定期的にバックアップをとる。
  トラブル発生時の被害を最小限に抑えるための有効な方法としておすすめします。
- データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。(☞操作マニュアル『セキュリティ機能』)

ハードディスク保護

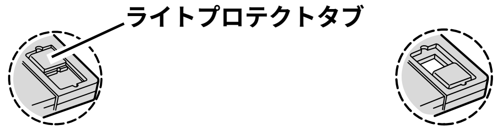
ハードディスク保護を有効に設定すると、ハードディスクにもパスワードが設定されるため、ハードディスクを別のコンピューターに取り付けた際にハードディスクのデータが読み書きできないようになります。ハードディスクを元のコンピューターに戻すと、以前と同じようにハードディスクに読み書きできます。この場合、セットアップユーティリティの設定をハードディスクが取り外される前と完全に同じ設定にしておいてください。(ハードディスク保護でデータを完全に保護できるという保証はありません。☞操作マニュアル『セキュリティ機能』)

フロッピーディスクのデータ保護

●フロッピーディスクドライブのアクセスランプが点灯中に電源を切ったり、フロッピーディスク取り出しボタンに触れたりしない。
フロッピーディスクの破損の原因になり、データやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。

●一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合はその前に内容を確認する。
フォーマットを行うとそのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えてしまいます。あらかじめ必要なデータがないか確認することをおすすめします。

●書き込み禁止タブ(ライトプロテクトタブ)を使う。
重要なデータを保存している場合におすすめします。書き込み禁止の状態にするとデータの削除や上書き保存を禁止することができます。



●フロッピーディスクの取り扱い。
データの破損やフロッピーディスクが本体から取り出せなくなるようなトラブルを避けるために次の点に注意してください。
・シャッターを手で開けない
・磁気を帯びたものを近づけない
・高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管しない
・ラベルを重ねてはらない

コンピューターウィルス

最新のウィルスチェックプログラム(市販)を入手し、チェックを行う。
特に以下の場合、ウィルスチェックを行うことをおすすめします。
・コンピューターを起動するとき
・データを入手したとき
フロッピーディスクなどの外部メディアやネットワーク、パソコン通信、電子メールなどから入手したデータ(圧縮されている場合は、圧縮解凍後のファイル)を使用または実行する前にウィルスチェックを行ってください。

ディスプレイの取り扱い

●ディスプレイは衝撃や振動に弱く、破損しやすいため、持ち運びの際には十分ご注意ください。
●カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で製造されていますが、ちょっとした環境変化等で点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができることがあります。これらの画素が0.002%以下（有効画素が99.998%以上）のものは故障ではありません。あらかじめご了承ください。

システムファイルチェッカー Windows 98

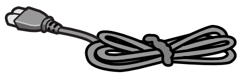
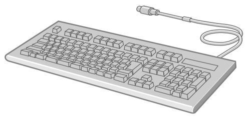
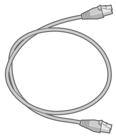
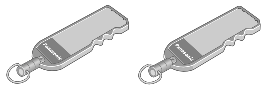
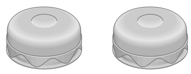
Internet Explorer 5.01がインストールされているコンピューターで、「システム情報」の「システムファイルチェッカー」を実行すると、以下の現象が起こることがマイクロソフト社より報告されています。
・正常なファイルに対しても「ファイルが壊れている可能性があります」というメッセージが表示される。
・その際、システムファイルチェッカーでファイルを修復するとシステムが不安定になる可能性がある。
本機には、工場出荷時に Internet Explorer 5.01 がインストールされていますので、システムファイルチェッカーはご使用にならないようお願いします。

はじめて使うとき

お買い上げになってからはじめて Windows の操作を始めるまでの操作手順を説明します。

1 付属品を確認する

コンピューター本体以外に以下の部品が付属しています。
万一、足りない場合は、お買い上げになった販売店にお確かめください。

電源コード .... 1 本	マウス .... 1 個	キーボード .... 1 個
 (100 V 対応)		
モバイルアシスト専用ケーブル ... 1 本	プライベートキー .... 2 個	コード収納ケース .... 2 個
	 品番：CF-VPKS02JS	 (マウスとキーボード用)

印刷物

- ●取扱説明書（本書）
- ● Windows マニュアル
- ●保証書（梱包箱に貼り付けられています。）
- ●キーラベル（プライベートキー貼付用）

CD

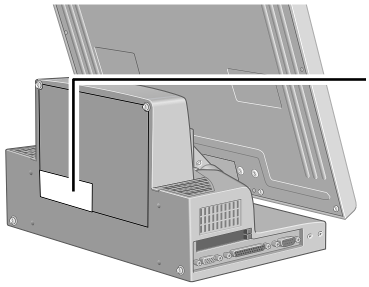
Windows 98
プロダクトリカバリー
CD-ROM .... 2 枚

Windows NT
プロダクトリカバリー
CD-ROM .... 1 枚
モバイルアシスト
インストール CD .... 1 枚

Windows 2000
プロダクトリカバリー
CD-ROM .... 2 枚
モバイルアシスト
インストール CD .... 1 枚

2 本体のラベルに記載されているプロダクトキー[Product Key]またはプロダクトID[Product ID]（数字とアルファベット）を本書の裏表紙などに記入する

プロダクトキーは、再インストールのときに Windows をセットアップするために必要です。



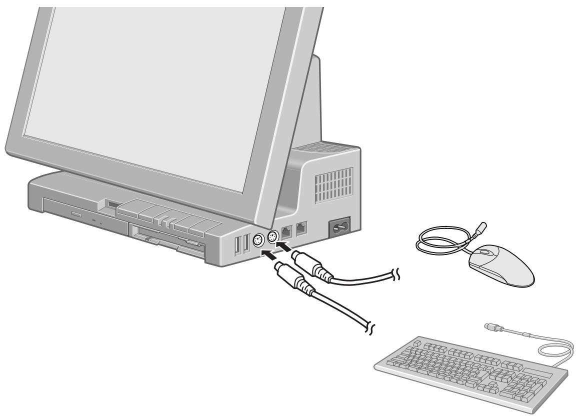
お願い

数字やアルファベットを間違えないように記入してください。
間違いやすい数字とアルファベットの一例

B　：アルファベットの B（ビー）です。
Q　：アルファベットの Q（キュー）です。
8　：数字の 8 です。

3 ケーブルを接続する

付属のマウスおよびキーボードを接続してください。
マウスとキーボードのコードをまとめておきたい場合は、コード収納ケースをお使いください。（☞ 12 ページ）

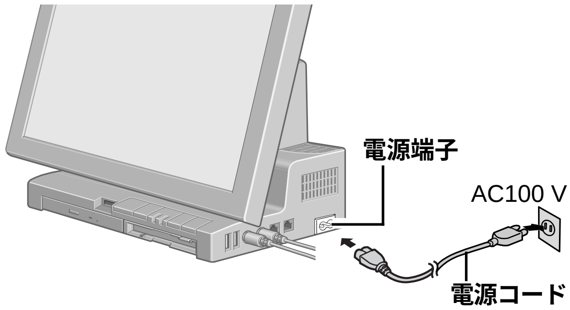


お願い

- ●テレビ、ラジオ、無線機や強い磁界を発生する装置の近くで使用しないでください。
- ●油煙やたばこの煙の多いところには設置しないでください。CD ドライブのレンズの寿命が短くなることがあります。
- ●水平で安定した場所に設置してください。

4 ソフトウェア使用許諾書（☞ 30ページ）に同意する

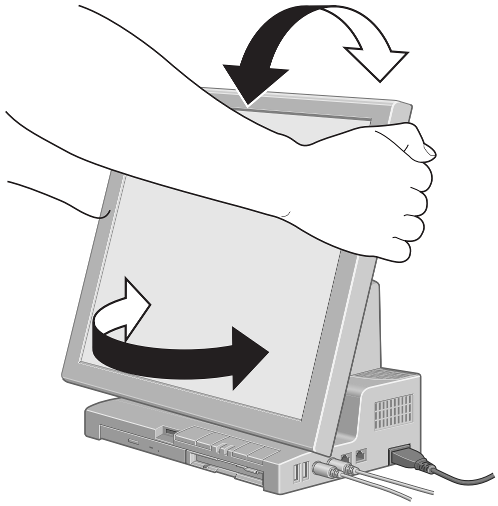
電源端子の上に貼られたシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を必ず確認してください。



5 電源コードを接続する

6 画面の角度を調整する

キーボードを本体から離して、ディスプレイを持って見やすい角度に調整してください。キーボードを近づけていると、ディスプレイがキーボードにあたって調整しにくい場合があります。

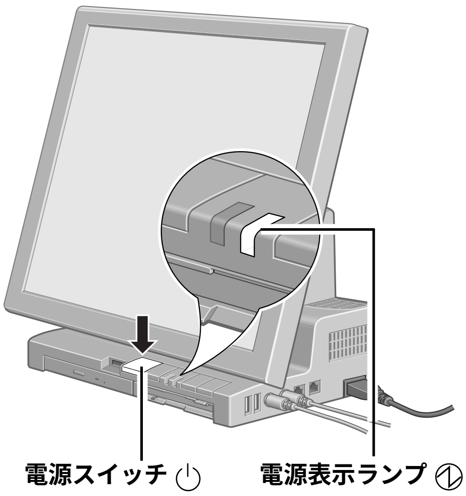


お願い

- ディスプレイと台座の接続部を持ったり、すき間に指を入れたりしないでください。また、ディスプレイ下部にも指を入れないでください。角度を調整するとき、指を挟む恐れがあります。
- ハードディスクドライブ、フロッピーディスクドライブ、CDドライブのアクセスランプ点灯中は、画面の角度を調整しないでください。

7 電源を入れる

電源スイッチを約1秒間押したままにし、電源表示ランプが点灯したことを確認してから手を離します。



お願い

- 電源表示ランプが点灯したことを確認した後、Windows のセットアップが完了するまでは、電源スイッチに触れないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。

お知らせ

工場出荷時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態がしばらくの間 * 続くと画面が消えます（電源表示ランプは緑色に点灯）。
この場合、マウスかキーボードの操作を行うと画面が元の状態に戻ります。
Windowsのセットアップ中やアプリケーションソフトのインストール中であってもディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。

* Windows 98、Windows 2000　：20 分
Windows NT　：10 分

8 ● Windows 98 をセットアップする Windows 98

お知らせ
- カーソル(⇖)の移動やボタンなどの選択（クリック）には、マウスを使います。（☞ 15 ページ）
- Windows が起動するまでの間、画面が縦長に表示される場合があります。

① 「ようこそ」画面で ESC を押して次のステップへ進む。
チュートリアルを使って文字の入力練習をしたいかたは M を押し、画面に従って操作してください。
② 「Windows 98 へようこそ」画面で名前とふりがなを入力して、[次へ]を選ぶ。
③ 画面の使用許諾契約をよく読んで、「同意する」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ
- 「同意しない」を選んだ場合、Windows のセットアップが中止されます。
- 再インストール後のセットアップの場合、使用許諾契約に同意すると「Windows プロダクトキー」画面が表示されます。取扱説明書の裏表紙に記入したプロダクトキー（Product Key）を入力して、[次へ]を選んでください。

④ [完了]を選ぶ。
⑤ 正しい日付と時刻を設定して[閉じる]を選ぶ。

お知らせ
- 工場出荷時では、Windows のプロパティで LAN 機能が無効に設定されています。LAN 機能をお使いになる場合は、『操作マニュアル』の「LAN 機能」をご覧ください。
- 増設 LCD キットを取り付けてダブルディスプレイにしている場合は、「LCD の配置」画面が表示されます。並列セッティングまたは対面セッティングを選んでください。（配置の設定は後で変更することができます。）
  LCD の配置を選んだ後、再起動を促す画面が表示される場合があります。必ず、[OK]を選んで再起動してください。
  再インストール後のセットアップの場合は、一方のディスプレイにのみセットアップ画面が表示されます。

● Windows NT® をセットアップする Windows NT

お知らせ
- カーソル(⇖)の移動やボタンなどの選択（クリック）には、マウスを使います。（☞ 15 ページ）
- Windows が起動するまでの間、画面が縦長に表示される場合があります。

① 画面のソフトウェア使用許諾契約を読んで、「同意します」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ
「同意しない」を選んだ場合、Windows のセットアップが中止されます。

② 名前と組織名を入力して[次へ]を選ぶ。（組織名は省略可能）
③ コンピューター名を入力して[次へ]を選ぶ。
④ 管理者アカウントのパスワードを入力して[次へ]を選ぶ。

お願い
設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れると Windows NT を使用することができません。

⑤ [完了]を選ぶ。コンピューターが再起動します。
⑥「ログオンの開始」の画面で、(Alt) + (Ctrl) + (Delete)を押す。
手順④で入力したパスワードを入力し[OK]を選び、「ようこそ」の画面で[閉じる]を選ぶ。

お願い

ハードディスク状態表示ランプ（🛢）が消えて 10 秒以上たってからログオンしてください。ハードディスクへのアクセス中（ハードディスク状態表示ランプ点灯中）にログオンすると、モデムカードなどの PC カードが認識されない場合があります。

お知らせ

- 以降、起動の際は、手順④で設定したパスワードの入力が必要です。
- 工場出荷時では、Windows のプロパティで LAN 機能が無効に設定されています。LAN 機能をお使いになる場合は、『操作マニュアル』の「LAN 機能」をご覧ください。
- 修復ディスクを作成する場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]で、「rdisk.exe」と入力し、画面に従って作成してください。

● Windows 2000 をセットアップする　Windows 2000

お願い

「Windows 2000セットアップ　ウィザードの開始」画面が表示されるまで、キーを押したりマウスを動かしたりしないでください。

お知らせ

- カーソル(↖)の移動やボタンなどの選択（クリック）には、マウスを使います。（☞ 15 ページ）
- Windows が起動するまでの間、画面が縦長に表示される場合があります。

①「Windows 2000 セットアップウィザードの開始」画面で[次へ]を選ぶ。
②「ライセンス契約」画面で使用許諾契約をよく読んで、「同意します」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ

「同意しません」を選んだ場合、Windows のセットアップが中止されます。

③「地域」画面で正しい地域を設定して、[次へ]を選ぶ。
④「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前と組織名を入力して、[次へ]を選ぶ。
名前は必ず入力してください。組織名は入力しなくても次に進むことができます。

お知らせ

再インストール後のセットアップの場合、個人用設定の後に「プロダクトキー」画面が表示されます。取扱説明書の裏表紙などに記入したプロダクトキー（Product Key）を入力して、[次へ]を選んでください。

⑤「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面で、コンピューター名とパスワードを入力して、[次へ]を選ぶ。

お願い

設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsを使用することができません。

⑥「日付と時刻の設定」画面で正しい日付と時刻を設定して[次へ]を選ぶ。
⑦「ネットワークの設定」画面で[標準設定]を選び、[次へ]を選ぶ。
以降の操作は、使うネットワークシステムにより異なります。詳しくは、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
⑧「ワークグループまたはドメイン名」画面で[このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している]を選び、[次へ]を選ぶ。
⑨「Windows 2000 セットアップ　ウィザードの完了」画面で、[完了]を選ぶ。
コンピューターが自動的に再起動します。
⑩「ネットワーク識別ウィザードの開始」画面で、[次へ]を選ぶ。
⑪「このコンピュータのユーザー」画面で「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」を選び、[次へ]を選ぶ。
⑫「ネットワーク識別ウィザードの終了」画面で[完了]を選ぶ。
⑬ 手順⑤で設定した Administrator のパスワードを入力して[OK]を選ぶ。

お知らせ

- 「Windows 2000 の紹介」画面について
  - この画面を閉じる場合は、[終了]を選んでください。
  - 「Windows 2000 について」を選ぶと、CD を挿入するメッセージが表示される場合があります。[キャンセル]を選んだ後、[c:\winnt\cdimage]と入力して[OK]を選んでください。
  - 「スタートアップ時にこの画面を表示」のチェックマークを外すと、次回起動時からこの画面は表示されません。
- 増設 LCD キットを取り付けてダブルディスプレイにしている場合は、[LCD の配置]画面が表示されます。並列セッティングまたは対面セッティングを選びます。(配置の設定は後で変更することができます。)

お使いになる前に

9 バックアップディスクを作成する

書き込み可能な状態にした1.44 Mバイトフォーマットの2HDフロッピーディスク（枚数は画面に従ってください）を準備し、[スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[バックアップディスク作成]を選びます。画面に従って操作してください。作成したディスクにはラベルを貼ってください。

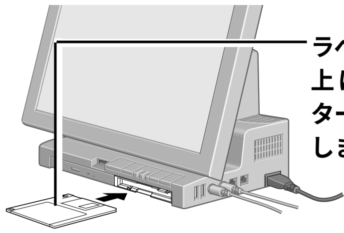
- フロッピーディスクラベルの名前
  ファーストエイド FD

上記に加え「アップデート FD」の作成画面が表示された場合は、画面に従ってフロッピーディスクを必要枚数準備し、作成してください。

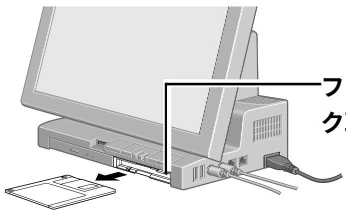
Windows 2000

バックアップディスクは、作成する必要がない場合もあります。この場合、「バックアップディスクを作成する必要はありません」というメッセージが表示されます。

●フロッピーディスクのセット



●フロッピーディスクの取り出し



お願い

- 作成したバックアップディスクは、何らかのトラブルが発生しコンピューターが正常に動作しなくなったときなど、再インストールを行う必要が起こったときに使います。作成画面が表示された場合は、画面に従って必ず作成し、大切に保管してください。
  バックアップディスクの作成中は、他のプログラムを動作させないでください。
- バックアップディスクを作成できない場合、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。またはフロッピーディスクの作成中に「コピーするファイルが足りません。」というメッセージが表示された場合は、[OK]を選んだ後、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。
- フロッピーディスクアクセスランプが点灯中にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

10 Windows NT Acrobat® Readerをインストールする

お知らせ

Acrobat® Reader は、操作マニュアルを見るために必要です。

① [スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選ぶ。
② 「c:\util\reader\ar40jpn.exe」と入力し[OK]を選ぶ。
③ [次へ]を選び、Acrobat® Reader 4.0 をセットアップする。
④ 「ソフトウェア使用許諾契約書」の内容を読んで、同意したら[同意する]を選ぶ。
⑤ [次へ]を選び、[完了]を選ぶ。

お知らせ

Windows NT

- ハードディスクには、4 G バイトの NT ファイルシステム（NTFS）用領域が含まれています。残りの空き領域（内蔵ハードディスクの容量から 4 G バイトを引いた領域）をお使いになる場合は、[スタート]-[プログラム]-[管理ツール（共通）]-[ディスクアドミニストレータ]で区画を作成しフォーマットしてください。
  「不明 2**MB」と表示されている領域は、重要な領域です。絶対に削除しないでください。

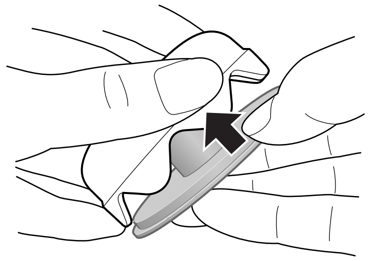
Windows 2000

- 新規デバイスをインストールしたときや[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]で Windows のコンポーネントを追加したときに、CD を挿入するメッセージが表示される場合があります。[OK]を選び、コピー元の[D:]または[L:]の代わりに[c:\winnt\cdimage]と入力して[OK]を選んでください。

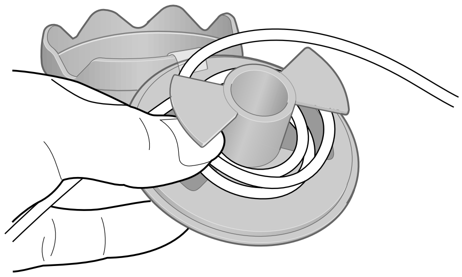
マウスおよびキーボードのコードを収納する

マウスやキーボードのコードが長すぎて操作しにくい場合は、付属のコード収納ケースにコードをまとめることができます。

1 ケースのすき間に指を入れて、フタを開ける



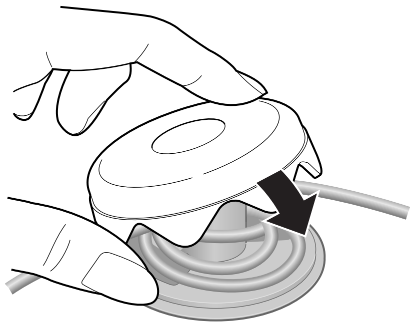
2 コードを巻きつける



3 フタを閉じる

お願い

フタの間にコードを挟まないようにしてください。



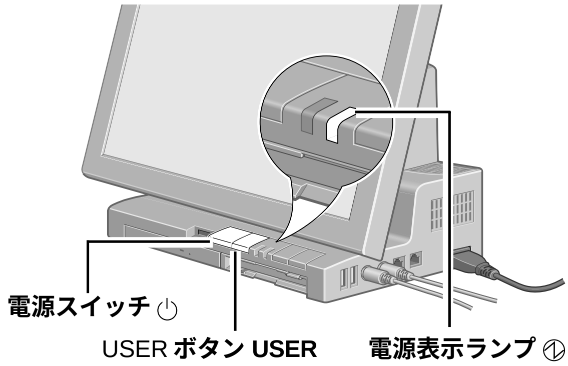
操作を始める／終わる

操作を始める

1 電源を入れる

以下の２とおりの方法があります。

- **電源スイッチを約1秒間押したままにし、電源表示ランプが点灯したことを確認してから手を離す。**
- USER **ボタンを押す。**Windows **起動後、**USER **ボタンに登録してあるアプリケーションソフトが起動します。**
  (☞ 操作マニュアル『USER **ボタン』)**



お願い

- **電源表示ランプが点灯したことを確認した後、**Windows**が完全に起動するまでは以下のことを行わないでください。**
  - **電源スイッチおよび** USER **ボタンを押す。**
  - **キーボード（起動メニュー画面を表示するために押す** Esc **キー以外）、マウスを操作する。**
- USER **ボタンで電源が入らない場合は、電源スイッチを押してみてください。**
- **電源を切った後、再び電源を入れるまで** 10 **秒以上あけてください。**

●起動するデバイスを選択する

起動するデバイスの選択は、コンピューター起動時に行います。
CD **ドライブから起動する場合は、**CD **ドライブにブータブル**CD**がセットされている状態で電源を入れてください。**

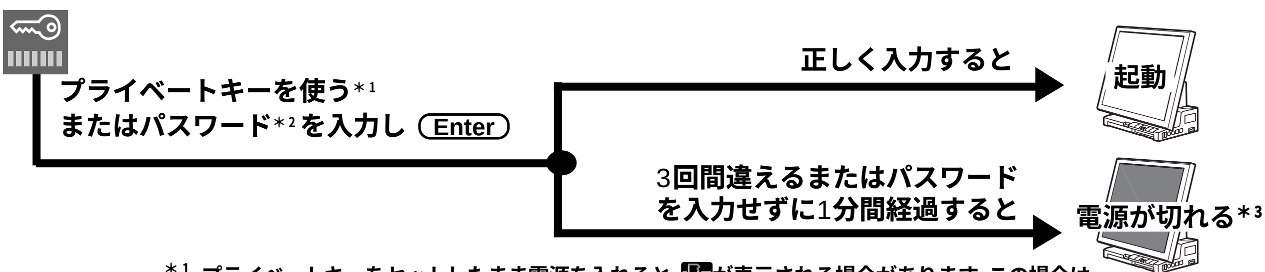
1 **電源を入れ、「**Press <ESC> to enter Boot First Menu**」が表示されているときに** (Esc) **を押す。**
パスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定している場合、パスワードの入力が必要です。

2 **メニューから起動するデバイスを選び、**(Enter)**を押す。**

- **選択したデバイスから起動できない場合、または起動時に起動デバイスを選択しなかった場合は、セットアップユーティリティの「起動」メニューの設定順で起動します。(☞ 操作マニュアル『セットアップユーティリティ』)**
- **セットアップユーティリティの設定を変更したい場合は、メニューから「**Enter Setup**」を選んでください。**
- **以降の手順は、オペレーティングシステムをハードディスクから起動した時の手順です。**CD **ドライブまたはフロッピーディスクドライブからの起動は、それぞれの手順に従ってください。**

●画面に[鍵アイコン]が表示されたら ...

本機のセキュリティのため、パスワード（☞ 操作マニュアル『セキュリティ機能』）が設定されています。



＊1 プライベートキーをセットしたまま電源を入れると、[アイコン]が表示される場合があります。この場合は、プライベートキーを取り出してください。
＊2 セットアップユーティリティで設定したパスワードです。(Windowsのパスワードではありません。)
＊3 休止状態から操作を再開した場合は、3回パスワードの入力を間違えるか、パスワードを入力せずに1分間経過すると、再度休止状態になります。

2 Windows NT オペレーティングシステムを選択する

Windows NT Workstation Version 4.00 を選び Enter を押してください。

3 Windows NT ログオンする

Ctrl + Alt + Delete を押してください。

4 Windows NT Windows 2000 パスワードを入力する

ハードディスク状態表示ランプ（⛁）が消えて10秒以上たってから、ユーザー名とパスワードを入力して[OK]を選びます。正しいユーザー名とパスワードを入力するまで操作できません。

Windows NT [キャンセル]をクリックすると、「ログオンの開始」画面に戻ります。

お願い

ハードディスクへのアクセス中（ハードディスク状態表示ランプ点灯中）にユーザー名とパスワードを入力して[OK]を選ぶと、モデムカードなどの PC カードが認識されない場合があります。

5 操作をする

各種アプリケーション等を起動し、操作を始めてください。

お知らせ

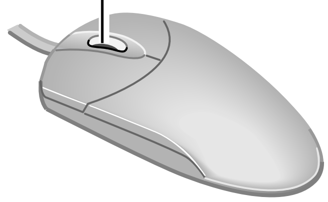
- 工場出荷時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態がしばらくの間*続くと画面が消えます（電源表示ランプは緑色に点灯）。この場合、マウスかキーボードの操作を行うと画面が元の状態に戻ります。
  Windowsのセットアップ中やアプリケーションソフトのインストール中であってもディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。
  *Windows 98、Windows 2000 ：20 分
  Windows NT ：10 分
- 前回操作していたアプリケーションソフトやファイルがすぐに表示されたら ...
  スタンバイ・休止状態と呼ばれる機能（☞操作マニュアル『スタンバイ・休止状態』）を使って操作を終わると、前回操作を終えたときに表示していた画面が表示され、すぐに操作を再開することができます。

Windows 98

- 工場出荷時の設定で、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]-[デバイスマネージャ]に「!」や「?」が表示される場合がありますが、異常ではありません。「!」や「?」の付いているデバイスのドライバーをインストールするなどしてデバイスの使用環境が整うと、「!」や「?」は表示されなくなります。

マウスを使う

マウスの操作には、「クリックする」「ダブルクリックする」「ドラッグする」の 3 種類の基本操作があります。また、マウス中央のホイールボタンでスクロールやオートスクロールなどの機能が使えます。
通常は左ボタンを使います。操作やアプリケーションによっては、右ボタンを使う場合もあります。



操作を終わる（電源を切る）

スタンバイ・休止状態機能（☞操作マニュアル『スタンバイ・休止状態機能』）を使わずに操作を終わります。

1 必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する

2 終了画面を表示する

Windows 98　[スタート]-[Windows の終了]を選ぶ。
Windows NT　Windows 2000　[スタート]-[シャットダウン]を選ぶ。

お知らせ

キーボードを使って終了画面を表示するとき
[⊞] または [Ctrl] + [Esc] を押し、[Windows の終了]または[シャットダウン]を選びます。

3 終了を確認し、電源を切る

Windows 98　[電源を切れる状態にする]を選んで[OK]を選ぶ。
自動的に電源が切れます。

Windows NT　[コンピューターをシャットダウンする]を選んで[はい]を選ぶ。
自動的に電源が切れます。
（Phoenix APM 2.0 for Windows NT®がインストールされている必要があります。インストールされている場合は、タスクバーにまたは[コントロールパネル]にが表示されています。Phoenix APM 2.0 for Windows NT®がインストールされていない場合は、「電源を切断しても安全です」が表示された後、電源スイッチを押してください。）

Windows 2000　[シャットダウン]を選んで[OK]を選ぶ。
自動的に電源が切れます。

お知らせ

- 長期間使用しないときは、節電のため電源コードを抜いてください。（☞ 32 ページ）
- 次に電源を入れるとき、すぐに操作を再開したい場合は、スタンバイと休止状態と呼ばれる機能があります。（☞操作マニュアル『スタンバイ・休止状態機能』）

操作マニュアル

操作マニュアルは、画面で見ることができるオンラインマニュアルです。プリンターが接続されていれば、印刷することもできます。
周辺機器の拡張方法やセットアップユーティリティの設定方法など、知っていると便利な情報、本機をより活用するための機能について説明しています。

Windows NT

操作マニュアルを見るためには、Acrobat® Reader をインストールしておく必要があります。（☞ 11 ページ）

操作マニュアルを起動する

1 電源を入れる

2 [スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[操作マニュアル]を選ぶ

もくじが表示されます。見たい項目を選んでください。

Windows 98

はじめて操作マニュアルを起動したときは、Acrobat® Reader の「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。内容を確認の上、[同意する]を選んでください。

お願い

Windows 98

- 上記手順以外の方法で起動すると、「ソフトウェア使用許諾契約書」画面以外にエラーメッセージが表示される場合があります。その場合は、[OK]を選んでください。

Windows 2000

- 上記以外の方法（マイコンピュータなどから、操作マニュアルのファイルをダブルクリックするなど）では起動できないことがあります。
  その場合はコンピューターを再起動した後、上記の方法で起動し直してください。

お知らせ

- 表示サイズによっては、イラストが見にくい場合があります。この場合は表示を拡大してください。
- Acrobat® Reader の下部がタスクバーにかくれて見えないときは、ウィンドウを最大表示にしてください。
- プリンターをお持ちの方は、ページ右上の [印刷] をクリックすると印刷設定画面が表示されますので、必要なページを指定して印刷することができます。ページは、画面左下の「ページの確認」部分で確認してください。ただし、プリンターによっては、イラストや画面サンプルがきれいに印刷できないことがあります。

前後のページを表示します。
（前後のページに同項目の説明が続いている場合のみ表示）

同項目内でページが移動できない場合があります。
ページ移動は⇦ ⇨で行ってください。

操作の取り消し・やり直し

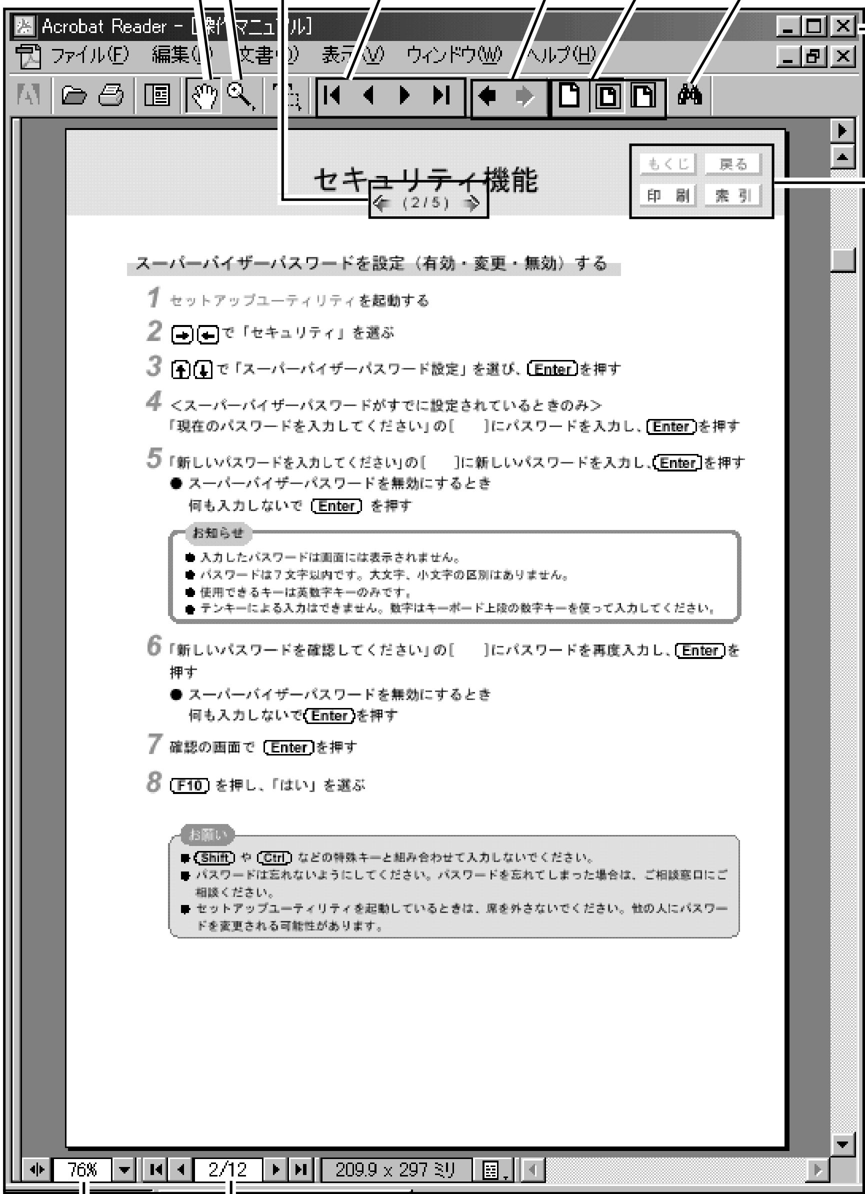
拡大表示

表示サイズ変更

表示部分の移動
（手のひらツール）

文字検索
（開いているファイル内を検索します。）

閉じる



（手のひらツール）
でクリックしてください。

もくじ：もくじを表示

戻 る：一つ前に表示していたページに戻る

印 刷：印刷画面を表示
（プリンターを設定しておく必要があります。）

索 引：索引を表示

（画面は予告なく変更する場合があります。）

表示サイズの変更：
拡大・縮小など表示サイズを変更します。

ページの確認
必要なページを印刷するとき、
ここでページを確認できます。

操作の方法

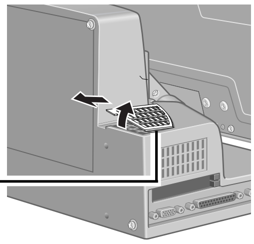
保管・持ち運び・お手入れ

製品全般の取り扱い

お手入れ

● ディスプレイ：　ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

● 通風孔内：　通風孔内のアミにほこりやごみなどがたまった場合は、本体の電源を切った後、通風孔カバーを取り外し、通風孔内(アミ部)に付着したほこりを掃除機などで吸い取ってください。



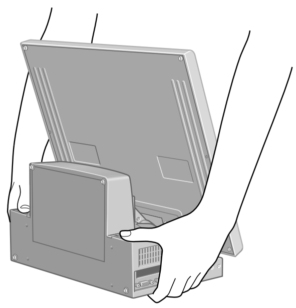
● ディスプレイ以外の部分：　水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸したやわらかい布をかたくしぼってやさしく汚れをふき取ってください。
中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

お願い

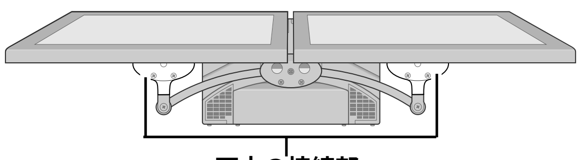
- ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
- 水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

持ち運び

- フロッピーディスクドライブからディスクを取り出してください。
- 電源を切り、電源コードを抜いてから持ち運んでください。
- 外部装置、ケーブル、本体から突き出た PC カードはすべて取り外してください。
- 落としたり、机の角など固い物にぶつけないよう注意してください。
- ディスプレイ部だけを持ったり、片手で持ったりしないでください。
  シングルディスプレイの場合：ディスプレイ面を手前にし、底面を持ち上げてかかえ込むようにして両手で持ってください。



ダブルディスプレイの場合：　アームやディスプレイがネジで固定されていることを確認し､背面側から両方のディスプレイの接続部（イラストで示した部分）を両手で持ってください。
接続部以外の部分を持つと、バランスが崩れて落下し、けがや故障の原因になります。



保管

直射日光のあたる場所や、極端に高温または低温の場所に置かないでください。

マウスのお手入れ

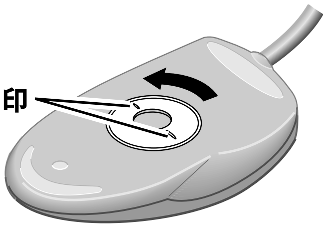
画面のマウスカーソルが思いどおりに動かない場合、マウスの中のボールにゴミやほこりが付いていることがあります。このようなときは、マウスのクリーニングを行ってください。

1 マウスを取り外す

本体の電源を切った後、電源スイッチを切り、マウスを取り外します。

2 裏側のふたを外して、ボールを取り出す

マウスを裏返して、ふたの2か所の目印を指で押さえながら反時計回りの方向に回してふたのロックを解除します。
マウスを傾けてふたを外し、中のボールを取り出します。

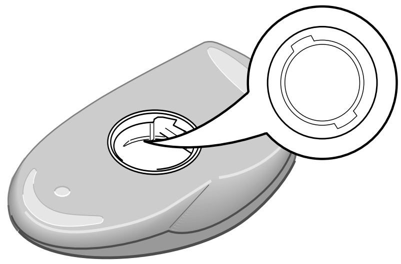


3 ボールを洗い、ふたとローラーをふく

石けんか台所用洗剤（中性）を溶かした温水でボールを洗い、よく水洗いしてから、乾いた柔らかい布でふいて乾かします。
ふたの表面、マウスの中のローラーを乾いた柔らかい布でふきます。

4 ボールとふたをはめ込む

ボールを元どおりにはめ込み、ふたを取り付けて、時計回りの方向に回して固定します。



5 マウスを取り付ける

マウスを元どおりに取り付けます。

操作の方法

エラーコードが表示されたら

ここでは、ハードウェアの不良が発生した場合など、起動時に表示されるエラーコードとその原因・対処について説明します。

エラーコード・メッセージ	原 因・対 処
0211 キーボードエラーです。	外部キーボードが動作していません。外部キーボードを取り外してください。
0251 システムCMOSのチェックサムが正しくありません。－デフォルト値が設定されました。	CMOS データがアプリケーションソフトによって壊されたか、変更されました。 ●セットアップユーティリティでいったん工場出荷時の設定(デフォルト設定）にした後、適切な値に設定し直してください。 ●それでもエラーになる場合は、CMOS バックアップバッテリーが消耗している可能性がありますので、ご相談窓口にご相談ください。
0271 Check date and time settings	システムの日付と時間が正しくありません。セットアップユーティリティで日付と時間を正しく設定してください。
0280 起動を3回失敗しました。－デフォルト値を使用して起動します。	電源を入れてから OS が起動するまでに、3 回連続してシステムがシャットダウンされました。セットアップユーティリティでデフォルト設定にし、日付・時刻を合わせてください。なお、正しく OS を起動すれば表示されることはありません。

下記のエラーコードが表示された場合は、そのメッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。

エラーコード・メッセージ	原 因
0200 ハードディスクエラーです。	ハードディスクドライブまたはシステムボードの故障です。
0212 キーボードコントローラエラーです。	システムボードの故障です。
0230 システムRAMエラー。 オフセットアドレス：nnnn 0231 シャドウRAMエラー。 オフセットアドレス：nnnn 0232 拡張RAMエラー。 オフセットアドレス：nnnn	メモリーの故障です。
0250 システムのバッテリがありません。－バッテリを交換して、コンピュータを再起動して下さい。	CMOS バックアップバッテリーが消耗しています。 バッテリーの交換が必要です。
0260 システムタイマーエラーです。	システムボードの故障です。
0270 リアルタイムクロックエラーです。	システムボードの故障です。
02D0 システムキャッシュエラーです。 －キャッシュは使用できません。	CPU の故障です。
02F5 DMAのテストが異常終了しました。	システムボードの故障です。

困ったときのQ&A

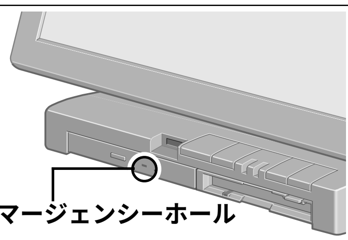
本機を動かそうとして、思ったとおりに動かなかったり、おかしいな？と思ったら、このページを読んでください。操作マニュアルでも、さらに詳しい内容を紹介しています。また、アプリケーションソフトによる原因も考えられますので、各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからない場合は、お買い上げになった販売店または当社ご相談窓口にご相談ください。

●電源を入れたとき

電源表示ランプが点灯しない	●電源コードが、正しく接続されていますか？ ●電源コードを本体から取り外し、接続し直してください。
が表示された	●セットアップユーティリティ（☞操作マニュアル『セットアップユーティリティ』）で設定しているパスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。 ●プライベートキーをセットしてください。
が表示された	プライベートキーを取り出してください。
エラーコード・メッセージが表示された	☞ 20 ページ
Windowsの起動および動作が極端に遅い	セットアップユーティリティを起動してください。 「デフォルト設定する」*1を選び、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻した後、再度各種設定*2をしてください。 (動作は使用するアプリケーションに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。)
画面上の日付 / 時刻の表示が違っている	●コントロールパネルの[日付と時刻]を使って、またはセットアップユーティリティを起動して正しい日付 / 時刻を設定してください。 ●正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合、日付と時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）の残量がない可能性があります。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。 ●LAN（ネットワーク）に接続している場合、サーバーの日付 / 時刻を確認してください。 ●西暦 2100 年以降は、日付と時間が正しく認識されません。
上記以外の場合	●セットアップユーティリティ（☞操作マニュアル『セットアップユーティリティ』）を起動してください。 「デフォルト設定する」*1を選び、いったん工場出荷時の設定（パスワード設定を除く）に戻した後、再度各種設定*2をしてください。 ●周辺機器を取り外してみてください。 Windows 98 ●SCANDISK コマンドを実行してハードディスクをチェックしてください。 ●起動時に Ctrl を押し、Safe モードで起動してみてください。 Windows 2000 ●[マイコンピュータ]の[ローカルディスク（C:)]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選び、[ツール]-[チェックする]を選ぶ。 ●起動時、「Windows を起動しています」が表示されているときに F8 を押し、セーフモードで起動してエラーの内容を確認してください。
Windows 98 Windows 2000 スタンバイ・休止状態からリジュームしたとき、が表示されない	セットアップユーティリティでパスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定していても、スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはパスワード入力は要求されません。パスワード入力が必要となるように設定するには、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源の管理]*3-[詳細]で「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。

*1 セットアップユーティリティ起動時にユーザーパスワードを入力した場合、「デフォルト設定する」は表示されません。
*2 内蔵の LAN コネクターによるネットワーク接続をしない場合、「デフォルト設定する」を選んだ後、「LAN」を「無効」に設定してください。スタンバイ・休止状態からリジュームするまでの時間やコンピューターが起動するまでの時間が短くなります。
*3 Windows 2000 : [電源オプション]

●ディスクの操作

フロッピーディスクのデータの読み出しも書き込みもできない	●フロッピーディスクは正しくセットされていますか？ ●フロッピーディスクは正しく初期化(フォーマット)されていますか？ ●セットアップユーティリティで、「フロッピー操作」を「有効」に設定していますか？（☞操作マニュアル『セットアップユーティリティ』） ●フロッピーディスクの内容が壊れている場合があります。
フロッピーディスクへの書き込みができない	フロッピーディスクが書き込み禁止になっていませんか？
フロッピーディスクを初期化する方法がわからない	●[マイコンピュータ]-[3.5インチFD（A:）]*-[ファイル]-[フォーマット]を選び、ディスクの容量やフォーマットの種類を確認してフォーマットを開始してください。 * Windows 2000：[3.5インチFD（A:）]をマウスの右ボタンで選ぶ ●1.2 Mバイトのフォーマット（FORMAT3）を行う場合 Windows 98 *1* 電源を入れる。 *2*「Press <F2> to enter SETUP」と表示されたらすぐに Ctrl を押し、メニュー画面が表示されたら手を離す。 *3*「Safe mode command prompt only」を選ぶ。 *4* 半角／全角 を押す。 *5* MS-DOSプロンプトに続いて次のように入力する。 c: Enter cd\windows\command Enter fd3mode Enter format3 a: Enter Windows NT Windows 2000 3モードドライバーのインストールが必要です。（☞ 操作マニュアル『技術情報』）[マイコンピュータ]-[3.5インチFD(A:)]-[ファイル]-[フォーマット]で、[容量]の項目で1.2 Mバイトフォーマットが選択できる場合はすでにインストールされています。
ハードディスクのデータの読み出しも書き込みもできない	●ドライブやファイルの指定に誤りがないか確認してください。 ●ハードディスクの空き容量は足りていますか？ ●ハードディスクの内容が壊れている場合があります。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。
CDでトラブルが発生した	指定の方法（☞操作マニュアル『CDドライブ』）で、レンズやCDのクリーニングを行ってください。
上記以外の場合	他のドライブやメディアで試してみてください。
アクセスランプが点灯しない	CDは正しくトレイにセットされていますか？
CDの再生や読み出しができない	●CDが変形していたり、傷や汚れが付いていませんか？ ●セットアップユーティリティで、「CD操作」を「有効」に設定していますか？（☞操作マニュアル『セットアップユーティリティ』）
突然、MPEG画像が残った青い画面になった	CDドライブから、MPEGのCDを取り出しませんでしたか？ CDをセットして Enter を押してください。
CDドライブの振動が大きい	●変形したCDや、ラベルをはったCDを使用していませんか？ ●セットアップユーティリティで、「CDドライブ速度」を「中速」に設定してください。
CDが取り出せない	コンピューターの電源が入っていますか? 電源が入っていない状態でCDを取り出すには、ゼムクリップを引き伸ばしたものなどをエマージェンシーホールに差し込んで、トレイを引き出してください。 

●ディスクの操作

Windows 98 MS-DOS モードで CD ドライブが使えない	MS-DOS モードで CD ドライブを使う場合、以下の手順でドライバーを組み込んでください。 *1* [スタート]-[Windows の終了]を選ぶ。 *2*「MS-DOS モードで再起動する」を選び、[OK]を選ぶ。 *3* CONFIG.SYS ファイルを修正する。 cd \ (Enter) edit config.sys (Enter) *4* カーソルを以下の行に移動し、行頭の rem を削除する。 (rem を削除するとその項目が有効になります。) DEVICEHIGH=C:\WINDOWS\COMMAND\OAKCDROM.SYS /D:MSCD000 (この行がない場合は追加してください。) *5* (Alt)、(F) を順に押して、(S) を押して保存し、(Alt)、(F) を順に押して、(X) を押して終了する。 *6* 同様に AUTOEXEC.BAT ファイルを修正する。 edit autoexec.bat (Enter) *7* カーソルを MSCDEX.EXE のドライバーが記載されている行に移動し、行頭の rem を削除する。 (rem を削除するとその項目が有効になります。) LOADHIGH C:\WINDOWS\COMMAND\MSCDEX.EXE /D:MSCD000 /L:L (この行がない場合は追加してください。) *8* (Alt)、(F) を順に押して、(S) を押して保存し、(Alt)、(F) を順に押して、(X) を押して終了する。 *9* コンピューターを再起動する。
Windows NT 1.2 M バイトフロッピーディスクで読み出しも書き込みもできない	3 モードドライバーはインストールされていますか？（☞ 操作マニュアル『技術情報』）

●文字入力

<table>
<tr><td>日本語が入力できない</td><td>タスクバー上にが表示されていますか？表示されていない場合は、日本語入力モードになっていません。(Alt) + (半角／全角) で日本語入力モードにしてください。</td></tr>
<tr><td>アルファベットを小文字で入力したいのに大文字で表示される</td><td>キーボードの Caps Lock ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合、大文字入力モードになっています。解除するには、(Shift) + (Caps Lock) を押します。</td></tr>
<tr><td>欧文特殊文字（ßàçï など）や記号が入力できない</td><td>Windows 98 Windows 2000
[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[文字コード表]を選んでください。文字コード表が表示されます。フォント名を欧文用フォントなどに指定して、入力したい文字を選んでください。
Windows NT
[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[文字コード表]を選んでください。文字コード表が表示されます。フォント名を欧文用フォントなどに指定して、入力したい文字を選んでください。</td></tr>
<tr><td>キーボード上の文字(記号)で入力できないキーがある</td><td>以下のキーはシフト JIS コードを使って入力します。
<table>
<tr><td>文字</td><td>"『"</td><td>"¢"</td><td>"ヶ"</td><td>"』"</td><td>"＼"</td><td>"¦"</td><td>"£"</td><td>"々"</td><td>"¬"</td><td>"～"</td></tr>
<tr><td>シフトJISコード</td><td>8177</td><td>8191</td><td>8396</td><td>8178</td><td>815F</td><td>FA55</td><td>8192</td><td>8158</td><td>81CA</td><td>8160</td></tr>
</table>
タスクバー上にが表示されている状態（全角）でシフトJISコードの数字を入力し、(F5) を押してください。
また"＼"は"¥"、"￣"は"～"（半角の場合は"~"）と表示されます。</td></tr>
</table>

困った時は

困ったときのQ&A

●画面表示

電源を入れた後、画面に何も表示されない	●輝度（明るさ）を調整してください。（☞31ページ） ●外部ディスプレイの画面に何も表示されない場合： ・外部ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？ ・外部ディスプレイの電源は入っていますか？ ・外部ディスプレイは正しく設定されていますか？
電源を切っていないのに、しばらくしたら画面に何も表示されなくなった	●省電力の設定をしていますか？ Ctrl などのキーを押すかマウスを操作して、省電力のため画面が消えた状態になっていないか確認してください。 ●電力の消費を抑えるため、自動的にスタンバイ・休止状態に入っている場合があります。
画面の解像度が切り換えられない	[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[画面]-[背景]で壁紙を「なし」に設定して[OK]を選び、再度解像度を変更してください。変更後、必ず再起動してください。
画面に赤・青・緑のドットが残るまたは正しい色が表示されないドットがある	●イメージが画面に焼き付き、残像となることがありますが、異常ではありません。別の画面が表示されると残像は消えます。 ●カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（赤・青・緑色）するものがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。（有効画素：99.998 %以上、画素欠け等：0.002 %以下）
マウスカーソルが動かない	マウスを正しく接続し、キーボードで操作してコンピューターを再起動してください。 キーボードを使って再起動するとき ⊞（または Ctrl + Esc ）を押し、「Windowsの終了」または「シャットダウン」を選びます。
外部ディスプレイに正しく表示されない	コンピューターの省電力モードに対応していないディスプレイを使っている場合、省電力のために画面が消えると、それ以降、外部ディスプレイに正しく表示されなくなります。この場合は、外部ディスプレイの電源を切ってください。
画面が乱れる	画面の色数を変更した場合は再起動してください。
Windows 98 カーソルの軌跡が見えなくなる	[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[マウス]-[動作]で「ポインタの軌跡」を設定してください。

困った時は

●操作マニュアルの問題

操作マニュアルを表示できない	Acrobat® Reader* がインストールされていますか？ インストールされていない場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選び、「c:\util\reader\setup.exe」*を起動し、画面に従ってインストールしてください。 その際、インストール先のフォルダーを変更しないでください。変更すると、スタートメニューからオンラインマニュアルを起動できません。 * Windows NT　: [c:\util\reader\ar40jpn.exe] Windows 2000　: [c:\util\reader\ar405.exe]
同じ項目内の前後のページに移動できない	同じ項目内の前後のページを表示するには、タイトルの下に表示されている⇦と⇨を選んでください。
Windows 2000 PDF形式のファイルを開けない	マイコンピュータなどからファイルをクリックした場合、起動できないことがあります。コンピューターを再起動した後、Acrobat Reader を起動し、[ファイル]-[開く]を選んでファイル名を指定して起動してください。また、操作マニュアルは、[スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[操作マニュアル]を選んでも起動できます。

●プライベートキーの問題

プライベートキーをなくした	●プライベートキーがなくても、パスワードを入力してコンピューターを起動したり、スクリーンセーバーを解除したりすることができます。 ●プライベートキーを2個ともなくした場合、別売りのプライベートキーを購入しても複製できません。詳しくはご相談窓口にご相談ください。 ●なくしたプライベートキーを無断で使用されることを避けるためには、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「キーによる起動」を「禁止」に設定してください。

● Windows を終了または再起動するとき

Windows が終了しない、または再起動できない	●音楽再生中は、電源を切らないでください。 ●Windows が終了しない場合は、4 秒以上電源スイッチを押して電源を切ってください。

●その他

ハングアップした	● Alt + Ctrl + Delete を押して、[シャットダウン]を選んでください。 ●電源スイッチを 4 秒以上押して電源を切った後、電源を入れてアプリケーションソフトを再度起動してください。それでも正常に動作しない場合は、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]でそのアプリケーションを削除してから、アプリケーションソフトを再インストールしてください。

再インストールのしかた

再インストールの前に

●準備する

・プロダクトリカバリー CD-ROM
・[バックアップディスク作成]（☞ 10 ページ、手順 *9*）で作成したバックアップディスク（ファーストエイド FD とアップデート FD）*1

*1 アップデータ FD は、作成する必要がない場合があります。また、Windows 2000 では、ファーストエイド FD も作成する必要がない場合があります。

●以下の点を確認する

・必要なデータはバックアップをとっておいてください。
・PC カード等の周辺機器は、すべて取り外してください。

再インストールする

お願い

・再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
・ハードディスクを圧縮して使用している場合は、解除してください。
・バックアップディスクを作成する必要があったにもかかわらず、バックアップディスクを作成していなかった場合は正常な状態に戻りません。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。

1 ファーストエイド FD *2 をフロッピーディスクドライブにセットして、電源を入れる。

*2 Windows 2000 : ファーストエイド FD を作成する必要があった場合のみ

2 以下の手順でセットアップユーティリティを起動し、必要な設定をする。

① 「Press <F2> to enter SETUP」が表示されているときに F2 を押す。

② セットアップユーティリティの設定内容を紙などに記入し、F9 を押す。確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。

③ → ← で「起動」を選ぶ。

④ ↑ ↓ で「CD ドライブ」を選ぶ。

⑤ F6 で「CD ドライブ」を 1 番上（起動ドライブ）に設定し、プロダクトリカバリー CD-ROM*3 を CD-ROM ドライブにセットする。

*3 Windows 98、Windows 2000 : プロダクトリカバリー CD-ROM 1

⑥ F10 を押す。確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。コンピューターが再起動し、以下の画面が表示される。

Windows 98

番号を選択してください。
1. ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す 2. C ドライブの内容のみを工場出荷状態に戻す 3. 終了

Windows NT

番号を選択してください。
1. ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す 2. 終了

Windows 2000

番号を選択してください。
1. ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す 2. 最初のパーティションに Windows 2000 を再インストールする 3. 終了

3 メニューから、どの操作を実行するかを選ぶ。

・**ハードディスクの内容をすべて工場出荷の状態にするには:**
[1.ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す]を選ぶ。

Windows 98

・**パーティション設定を行わず、ハードディスク(C ドライブ)を工場出荷の状態にするには：**
[2.Cドライブの内容のみを工場出荷状態に戻す]を選ぶ。

Windows 2000

・**最初のパーティション(通常は C ドライブ)を工場出荷の状態にするには：**
[2. 最初のパーティションに Windows 2000 を再インストールする]を選ぶ。

この場合、最初のパーティションのサイズは約 8G バイト以上必要です。小さなパーティションには再インストールできません。

4 確認のメッセージが表示されたら、Y を押す。
再インストールが始まります。

Windows 2000

・途中で、「～をドライブ L:に挿入してください」というメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリーCD-ROM 2 を CD ドライブにセットし、[OK]を選んでください。

Windows 98 Windows NT

・バックアップディスクの作成時に「アップデート FD」を作成した場合は、画面の指示に従ってください。

5 再インストールが終了すると、以下の画面が表示されます。フロッピーディスクおよびプロダクトリカバリーCD-ROM を取り出し、Ctrl + Alt + Delete で再起動する。

Windows 98 Windows NT

ハードディスクを工場出荷状態に戻しました。 フロッピーディスク、およびプロダクトリカバリーCD-ROMを取り出し、システムを再起動して、Windows をセットアップしてください。

困った時は

Windows 2000

> リブートするとWindows 2000 のセットアップが始まります。
> その後、再インストールを続けます。
> フロッピーディスク、およびプロダクトリカバリーCD-ROMを取り出し、システムを再起動してWindows 2000を起動し、指示にしたがってください。

6 **Windows NT**
青い画面が表示され、「Preinstallation completed successfully. Press any key to shut down/reboot」と表示されたら、何かキーを押します。自動的に再起動します。

7 以下の手順でセットアップユーティリティを起動し、必要な設定をする。
① 「Press <F2> to enter SETUP」が表示されているときに F2 を押す。
② F9 を押す。確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。
(セットアップユーティリティの設定も工場出荷時の設定に戻っています。パスワードを除くセキュリティの設定も工場出荷時の設定に戻っています。)
③ 必要に応じて、各種設定を変更する。
Windows NT
→ ← で「詳細」を選び、使用する機能に合わせて、次のいずれかの項目を選んでください。
ここで選んだ項目は、「Windows NT の再インストール後のセットアップ」手順 *8* でも関係します。
Ⓐ **内蔵LANだけ、または内蔵LANとモバイルアシスト機能の両方を使う場合：**
「LAN」を「有効」、「MOBILE ASSIST」を「無効」
・ モバイルアシスト機能も使う場合は、再インストールが完了した後、29ページの＜モバイルアシスト機能を使う場合＞の手順に従ってください。ここでは、必ず「無効」に設定しておいてください。
Ⓑ **内蔵LANを使わず、モバイルアシスト機能だけを使う場合：**
「LAN」を「無効」、「MOBILE ASSIST」を「有効」
Ⓒ **内蔵LANもモバイルアシスト機能も使わない場合：**
「LAN」と「MOBILE ASSIST」の両方を「無効」
④ F10 を押す。確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。

8 再起動後、画面に従ってWindows をセットアップする。
Windows 98、Windows 2000: ☞ 8～10 ページ　手順 *8*
Windows NT: ☞ 次の「再インストール後のセットアップ」

お知らせ
Windows 98
Windows のセットアップ画面は、一方のディスプレイのみに表示されます。セットアップ完了後、再起動を促す画面が表示されますので、[OK]を選んでください。再起動後、両方の画面が有効になります。

9 **Windows 2000**
Windows のセットアップが完了したら、以下のメッセージが表示されます。

> バックアップディスクを作成している場合、バックアップディスクをフロッピーディスクドライブに入れて[OK]を押してください。
> バックアップディスクを作成していないなら、[キャンセル]を押してください。

① ＜上記画面が表示されなかった場合＞
「Administrator」でログオンする。
＜バックアップディスクを作成している場合＞
「バックアップディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、[OK]を選ぶ。
＜「バックアップディスク」を作成する必要がなかった場合＞
[キャンセル]を選ぶ。
② 「ハードディスクを工場出荷状態に戻しました」と表示されたら、[OK]を選ぶ。

Windows NT

●再インストール後のセットアップ

お知らせ
- カーソル(↖)の移動やボタンなどの選択(クリック)には、マウスを使います。(☞ 15 ページ)
- Windowsが起動するまでの間、画面が縦長に表示される場合があります。

1 画面のソフトウェア使用許諾契約を読んで、「同意します」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ
「同意しない」を選んだ場合、Windows のセットアップが中止されます。

2 [次へ]を選ぶ。
3 名前と組織名を入力して[次へ]を選ぶ。(組織名は省略可能)
4 取扱説明書の裏表紙などに記入した、プロダクトID (Product ID) を入力して、[次へ]を選ぶ。
各ボックス間でカーソルを移動するときは、Tab を押すか、移動したいボックスをマウスで選ぶ。
5 コンピューター名を入力して[次へ]を選ぶ。
6 管理者アカウントのパスワードを入力して[次へ]を選ぶ。

お願い
設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れると Windows NT を使用することができません。

7 [次へ]を選ぶ。

再インストールのしかた

8 次のいずれかの手順で、ネットワークの設定をする。
どの手順で設定するかは、前ページの再インストール手順 *7* の③で選んだ項目に従ってください。
手順*7*で選んだ項目と異なる項目に従って設定することはできません。

Ⓐ **内蔵 LAN だけ、または内蔵 LAN とモバイルアシスト機能の両方を使う場合」を選んでいたら：**
内蔵 LAN アダプターのネットワークの設定をします。
① [ネットワークに参加する]を選び、[ネットワークに接続]にチェックマークを付けて[次へ]を選ぶ。
② [一覧から選択]を選び、「ネットワークアダプタの選択」画面で[ディスク使用]を選ぶ。
③「c:\util\drivers\LAN」と入力して[OK]を選ぶ。
④ [Realtek RTL8139 (A/B/C/8130) PCI Fast Ethernet Adapter]が選ばれていることを確認し、[OK]を選ぶ。
[検索開始]は選ばないでください。
⑤ [次へ]を選ぶ。
以降、画面に従って操作してください。
・ネットワーク環境に関するその他の設定は、使うネットワークシステムにより異なります。詳しくは、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
・モバイルアシスト機能も使う場合は、再インストールが完了した後、29 ページの＜モバイルアシスト機能を使う場合＞の手順に従ってください。ここでは設定しません。

Ⓑ **モバイルアシスト機能だけを使う場合（内蔵 LAN を使わない場合）を選んでいたら：**
① [ネットワークに参加する]および[ネットワークに接続]を選んで[次へ]を選ぶ。
② [一覧から選択]を選び、「ネットワークアダプタの選択」 画面で[ディスク使用]を選ぶ。
③「c:\util\drivers\massist」と入力して[OK]を選ぶ。
④ [(MOBILE ASSIST)Realtek RTL8139 (A/B/C/8130) PCI Fast Ethernet Adapter]が選ばれていることを確認し、[OK]を選ぶ。
[検索開始]は選ばないでください。
⑤「次へ」を選ぶ。
⑥「ネットワークプロトコル」で「TCP/IPプロトコル」のみが選択されていることを確認し、[次へ]を選ぶ。
⑦ [次へ]を選ぶ。
⑧「Duplex mode」画面で「(1) AUTO」を選び、[Continue]を選ぶ。
⑨「TCP/IP セットアップ」画面で[いいえ]を選ぶ。
⑩「Microsoft TCP/IP のプロパティ」で「IP アドレスを指定する」を選び、IPアドレスとサブネットマスクを次のように設定して、[OK]を選ぶ。
IP アドレス：192.168.0.1
サブネットマスク：255.255.255.0
⑪ [次へ]を選ぶ。
⑫ ワークグループ名にモバイルアシストの相手側で使用している名前を入力して、[次へ]を選ぶ。
（ワークグループ名は、Windows起動後変更できます。）

Ⓒ **内蔵LANもモバイルアシスト機能も使わない場合を選んでいたら**
「まだネットワークに接続しない」を選んで[次へ]を選ぶ。
（ネットワークの設定はWindows起動後でも設定できます。起動後に設定する場合、操作マニュアルの『技術情報』の「新しいソフトウェアまたはハードウェアコンポーネントを追加したとき」および『LAN』を必ずお読みください。）

9 正しい日付と時刻、タイムゾーンを設定して[閉じる]を選ぶ。（必要なファイルのコピー等に数分間かかります。）

お知らせ
ファイルのコピー中に画面が消えることがあります。この場合、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。

10「コンピュータの再起動」を選ぶ。
11「ログオンの開始」の画面で、Alt + Ctrl + Delete を押す。
12 手順*6*で入力したパスワードを入力し[OK]を選び、「ようこそ」の画面で[閉じる]を選ぶ。

お願い
ハードディスク状態表示ランプ（🖴）が消えて 10 秒以上たってからログオンしてください。ハードディスクへのアクセス中（ハードディスク状態表示ランプ点灯中）にログオンすると、モデムカードなどの PC カードが認識されない場合があります。

お知らせ
以降、起動の際は、手順*6*で設定したパスワードの入力が必要です。

13「ESS Allegro1 Utility」の「Welcome」画面で、[Next]を選ぶ。
14 [ドライバのアップグレード]を選んで、[Next]を選ぶ。
15「Setup Complete」画面で、[No, I will restart my computer later.]を選んで、[Finish]を選ぶ。
・「続けるには、どれかキーを押してください」が表示されたら、どれかキーを押してください。
16「APM2.0 for NT setup」画面が表示されます。
画面に従って、Phoenix APM 2.0 for Windows NT® をインストールする。
・「今すぐ再起動」の画面では、[再起動しない]を選んでください。
・「続けるには、どれかキーを押してください」が表示されたら、どれかキーを押してください。
17「Card Executive 2.0 for NT setup」画面が表示されます。
画面に従って、Phoenix Card Executive™ 2.0 for Windows NT® をインストールする。
・「再起動する」の画面では、[再起動する]を選んでください。

18「ログオンの開始」の画面で、Alt + Ctrl + Delete を押す。
手順*6*で入力したパスワードを入力し[OK]を選び、「ようこそ」の画面で[閉じる]を選ぶ。

19「Card Executive 2.0 for NT Diagnostics」の画面で「次へ」を選ぶ。

20「次へ」を選び「完了」を選ぶ。
コンピューターが再起動します。

お知らせ

「次へ」を選んだ後、「完了」を選ぶ画面が表示されるまで、約2～3分かかります。

21「ログオンの開始」画面で、Alt + Ctrl + Delete を押す。

22 手順*6*で入力したパスワードを入力し[OK]を選び、「ようこそ」画面で[閉じる]を選ぶ。

23 [インターネット]アイコンをダブルクリックし、以下の手順で Internet Explorer 5.01 をインストールする。
① 使用許諾契約書の画面で「同意する」を選んで、[次へ]を選ぶ。
②「Internet Explorer とインターネットツール」画面では、「最小構成インストール、またはブラウザのカスタマイズ」を選んで[次へ]を選ぶ。
③「コンポーネントのオプション」画面では、「完全構成」を選んで、[次へ]を選ぶ。
④ [完了]を選ぶ。

お知らせ

- 修復ディスクを作成する場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]で、「rdisk.exe」と入力し、画面に従って作成してください。
- 再インストール後は、工場出荷時の状態と以下の点が異なります。
  - 内蔵 LAN の設定
    工場出荷時は Windows のネットワークプロパティで無効に設定されています。再インストール後は、手順 *8* の設定により異なります。
    (☞『操作マニュアル』「LAN 機能」)
  - ハードディスクドライブの区画
    工場出荷時の状態では、C: ドライブとして使用されている領域（4GB）のみ、区画が作成されています。
    再インストール後は、C: ドライブとして使用されている領域（4GB）以外にも拡張パーティションとして区画のみが作成されます。工場出荷時の状態に戻すには、[スタート]-[プログラム]-[管理ツール＜共通＞]-[ディスクアドミニストレータ]で「空き領域」を選んだ後、メニューから[パーティション]を選んで[削除]を選んでください。

Windows NT

＜モバイルアシスト機能を使う場合＞

以下の設定をするには、「再インストール後のセットアップ」手順 *8* で Ⓐの項目に従って LAN の設定をしておく必要があります。ⒷやⒸの項目に従って設定していた場合、以下の手順は実行できません。

1 Windows を終了する。

2 電源を入れて、以下の手順でセットアップユーティリティを起動し、以下の設定をする。
①「Press <F2> to enter SETUP」が表示されているときに F2 を押す。
② → ← で「詳細」を選ぶ。
③ ↑ ↓ で「LAN」を選び、「無効」を選ぶ。
④ ↑ ↓ で「MOBILE ASSIST」を選び、「有効」を選ぶ。
⑤ F10 を押す。確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。
コンピューターが再起動します。
・Windows 起動時、サービスコントロールマネージャが「起動時エラーになりました」というメッセージを表示される場合があります。この場合は、[OK]を選んでください。

3 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ネットワーク]を選ぶ。

4 [アダプタ]を選び、[追加]を選ぶ。

5「ネットワークアダプタの選択」画面で[ディスク使用]を選ぶ。

6「c:\util\drivers\massist」と入力して[OK]を選ぶ。

7 [(MOBILE ASSIST)Realtek RTL8139 (A/B/C/8130) PCI Fast Ethernet Adapter]が選ばれていることを確認し、[OK]を選ぶ。

8「Duplex mode」画面で「(1) AUTO」を選び、[OK]を選ぶ。

9「ネットワーク」画面で[閉じる]を選ぶ。

10「Microsoft TCP/IPのプロパティ」画面で、「アダプタ」に[(MOBILE ASSIST)Realtek RTL8139 (A/B/C/8130) PCI Fast Ethernet Adapter]を選び、IPアドレスとサブネットマスクを次のように設定して、[OK]を選ぶ。
IP アドレス：192.168.0.1
サブネットマスク：255.255.255.0

11「再起動しますか」というメッセージが表示されたら、[はい]を選ぶ。

12 以下の手順でセットアップユーティリティを起動し、必要な設定をする。
①「Press <F2> to enter SETUP」が表示されているときに F2 を押す。
② → ← で「詳細」を選ぶ。
③ ↑ ↓ で「LAN」を選び、「有効」を選ぶ。
④ F10 を押す。確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。
コンピューターが再起動します。

ソフトウェア使用許諾書

第 1 条　権利
お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属 CD およびマニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第 2 条　第三者の使用
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第 3 条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

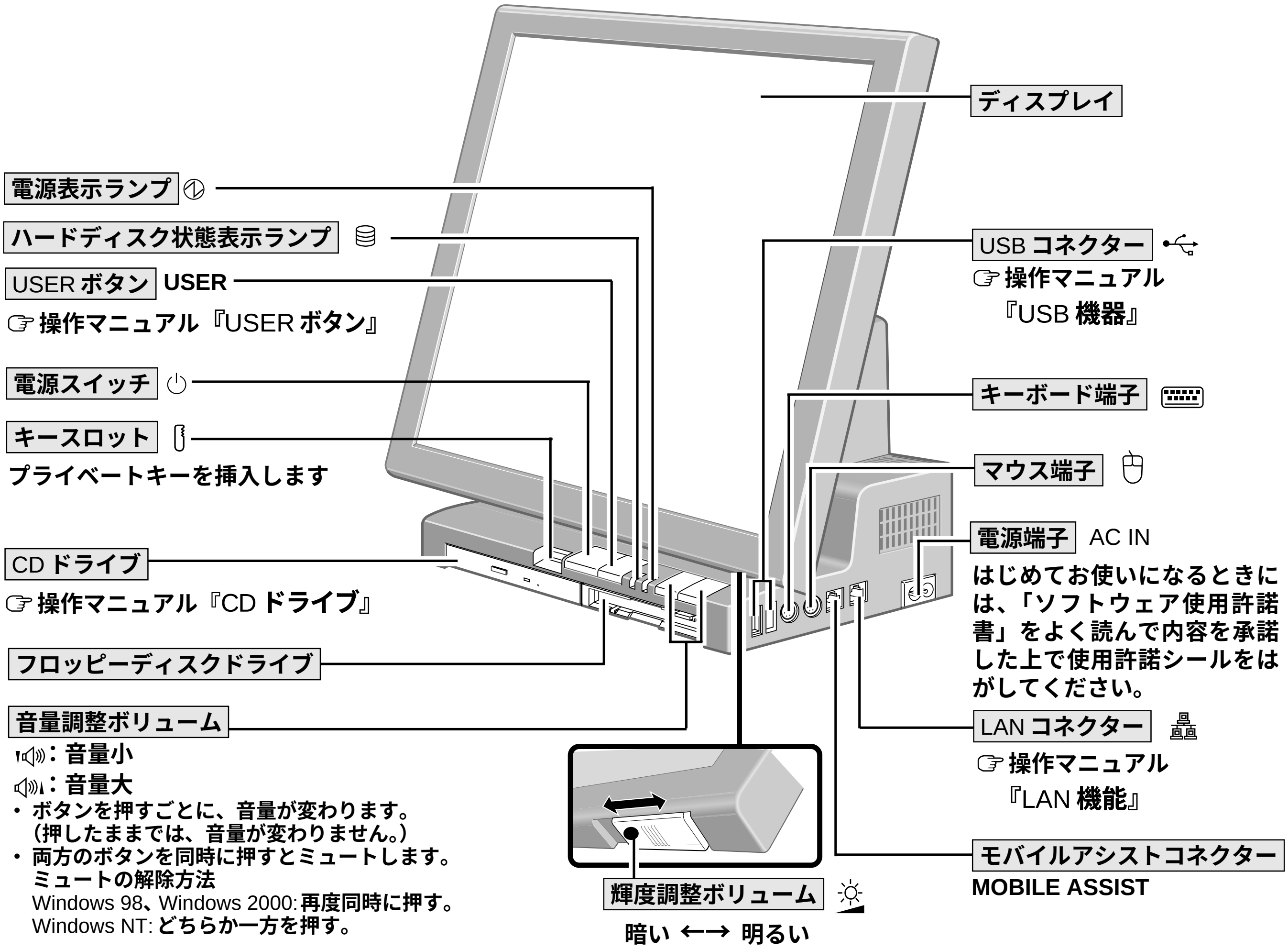
第 4 条　使用コンピューター
本ソフトウェアは、本コンピューター 1 台での使用とし、他のコンピューターで使用することはできません。

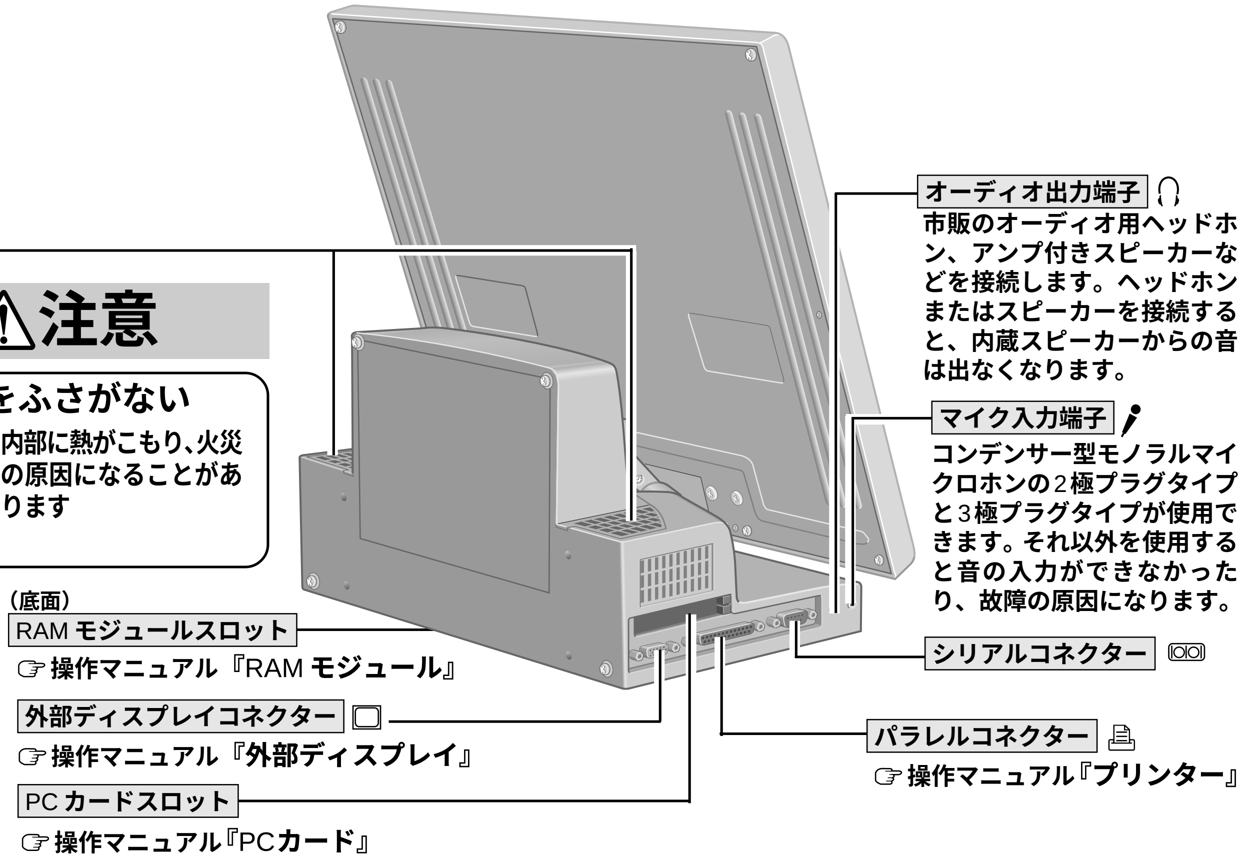
第 5 条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客様に対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。

第 6 条　アフターサービス
お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第 7 条　免責
本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第 6 条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店などはその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

各部の名称と働き





⚠注意

通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります

禁止

仕様 日本国内専用

●本体仕様

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

機種名			CF-81J8S CF-81J8KS	CF-81J2S CF-81J2KS	CF-81JNS
CPU			Intel® Celeron™ プロセッサ 700 MHz		
キャッシュメモリー(セカンドキャッシュメモリー)			32 K バイト（128 K バイト）		
搭載メモリー （拡張可能メモリー）			64 M バイト （SDRAM、66 MHz 対応） （最大 192 M バイト）	128 M バイト （SDRAM、66 MHz 対応） （最大 256 M バイト）	
ビデオメモリー			4 M バイト（SGRAM）		
LCD	サイズ（タイプ）		15.7 型 TFT カラー、SXGA 対応		
	解像度（色数）	640 × 480 ドット	256 色 /65,536 色 /1,677 万色		
		800 × 600 ドット	256 色 /65,536 色 /1,677 万色		
		1,024× 768 ドット	256 色 /65,536 色 /1,677 万色		
		1,280× 1,024 ドット	256 色 /65,536 色 /1,677 万色		
外部ディスプレイ出力	解像度（色数）		640 × 480 ドット /800 × 600 ドット /1,024 × 768 ドット / 1,280 × 1,024 ドット（1,677 万色）		
ハードディスク			20 G[*1] バイト		
フロッピーディスクドライブ			720 K バイト /1.2 M バイト /1.44 M バイトの３モード対応		
CD ドライブ			最大 24 倍速		
スロット	PC カードスロット		Type I（Type II）× 2 スロット内蔵（Type III × 1 スロットとして使用可能）		
		許容電流（2 スロット合計）[*2]	3.3 V または 5 V：400 mA、12 V：120 mA		
	増設 RAM スロット		1 スロット内蔵　（144 ピン、3.3 V 対応、 SDRAM）		
インターフェース	外部ディスプレイコネクター		ミニ Dsub 15 ピン		
	パラレルコネクター		ECP 対応 Dsub 25 ピン x 1		
	シリアルコネクター		RS-232C Dsub 9 ピン x 1		
	オーディオ出力端子		ステレオミニジャック x 1 （ヘッドホン出力）		
	マイク入力端子[*3]		ミニジャック		
	キーボード端子		PS/2 タイプ ミニ DIN 6 ピン x 1		
	マウス端子		PS/2 タイプ ミニ DIN 6 ピン x 1		
	LAN コネクター		モジュラージャック (RJ-45) x 1		
	USB コネクター		4 ピン x 2		
	モバイルアシストコネクター		モジュラージャック (RJ-45) x 1		
スピーカー			モノラルスピーカー（内蔵）		
サウンド機能			16 ビット /44.1 kHz、PCM 音源 /FM 音源		
クロックバッテリー			コイン型リチウム電池、3.0 V		
電源	入力		AC 100 V、50 Hz/60 Hz		
消費電力	シングルディスプレイ時		最大 57 W[*4] （社）電子情報技術産業協会　家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン実行計画書に基づく定格入力電力値：55 W		
	ダブルディスプレイ時[*5]		最大 79 W[*4] （社）電子情報技術産業協会　家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン実行計画書に基づく定格入力電力値：76 W		
外形寸法 （幅×高さ×奥行き）	シングルディスプレイ時		367 mm × 333 mm × 168 mm		
	ダブルディスプレイ時[*5]		729 mm × 333 mm × 168 mm		
質量	シングルディスプレイ時		約 6.3 kg		
	ダブルディスプレイ時[*5]		約 9.8 kg		
使用環境条件			温度：5℃～ 35℃　湿度：30 %～ 80 % RH（結露なきこと）		

*1　1 G バイト =10^9 バイト

*2　各スロットごとの許容電流です。他の周辺機器等による負荷がない場合のカードスロット単体での数値です。

*3　コンデンサー型モノラルマイクロホンのみ使用できます。

*4　電源オフで、電源コードを接続している状態では、約 0.9 W の電力を消費します。（LAN Wake Up 機能（☞ 操作マニュアル『LAN 機能』）を有効に設定している場合は約 1.2 W）

*5　シングルディスプレイタイプの CF-81J8S および CF-81J2S は、別売りの増設 LCD キットを取り付けることにより、ダブルディスプレイに変更可能です。CF-81JNS は、ダブルディスプレイに変更できません。

●付属品仕様

電源コード	125 V **対応**
キーボード	JIS **準拠** /109 **キーボード**
ポインティングデバイス	PS/2 **マウス（ホイール機能付き）**
モバイルアシスト専用ケーブル	**カテゴリー5のツイストペアクロスケーブル（**100BASE-TX/10BASE-T**）**

●導入済みソフトウェア

機種名	CF-81J8S / CF-81J8KS	CF-81JNS
OS	Microsoft® Windows® 98 Second Edition＊ **（**FAT32 **ファイルシステム）** Media Player 7.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0 **日本語版**＊ **（**NTFS **ファイルシステム）** Microsoft® Windows NT® Service Pack6A
ユーティリティープログラム	DMI **ビューアー** USER **ボタンモニター** **ディスプレイアシスト** **モバイルアシスト** LAPLINK 2000FT **プライベートキー関連ソフト** **表示先セレクター** Acrobat Reader	DMI **ビューアー** USER **ボタンモニター** **プライベートキー関連ソフト** **表示先セレクター** Phoenix Card Executive™ 2.0 for Windows NT® Phoenix APM 2.0 for Windows NT® Acrobat Reader **（添付ソフトウェア：モバイルアシスト** LAPLINK 2000FT**）**

機種名	CF-81J2S / CF-81J2KS
OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional **日本語版** Service Pack1 **（**NTFS **ファイルシステム）** Media Player 7.0
ユーティリティープログラム	DMI **ビューアー** USER **ボタンモニター** **ディスプレイアシスト** **プライベートキー関連ソフト** **表示先セレクター** Acrobat Reader **（添付ソフトウェア：モバイルアシスト** LAPLINK 2000FT**）**

本装置は、クラス１レーザー製品です。

クラス1レーザ製品

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。
転居や贈答品などでお困りの場合は…
・「パナソニックパソコン お客様ご相談センター」にご相談ください。

■保証書（別添付）
必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき
『困ったときのQ&A』にしたがってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
注）性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。
技術料は、診断・故障個所の修理および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品および補助材料費です。
出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■海外での使用について
本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売品の供給は行っておりません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

ご相談窓口のご案内

パーソナルコンピューターのパナソニックブランド製品についての技術的なご質問・お取り扱い方法等ご不明な点がありましたら、商品名をご確認のうえ、下記のご相談窓口にご相談ください。
なお、通常の修理サービスは、お買い上げ販売店にご依頼ください。

●ご相談窓口　パナソニックパソコン
お客様ご相談センター

電　話	0120-873029（パナソニック）（フリーダイヤル）
受付日及び時間	365日 9時～20時

（2001年1月1日現在）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- 漏洩電流について、この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。
- 高調波ガイドライン適合品

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

Panasonic パーソナルコンピューター CF-81シリーズ 取扱説明書

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品 番 *1	
	販売店名	☎(　　)　－	お客様ご相談窓口 ☎(　　)　－	
	Windows システムのプロダクトキー/プロダクト ID*2			

*1 保証書に記載されている品番（例：CF-81J8S）を記入してください。
*2 本体のラベルに記載されている Product Key または Product ID を記入してください。

松下電器産業株式会社　パーソナルコンピュータ事業部
〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目１０番１２号

SS0101-0
DFQM5436ZA